

新しいシゴト, 新しいジブン

DOMO!
DOMO!NET

平成23年2月期 通期決算説明会

株式会社アルバイトタイムス

平成23年4月20日

株式会社アルバイトタイムス 

新しいシゴト, 新しいジブン

DOMO!
DOMO!NET

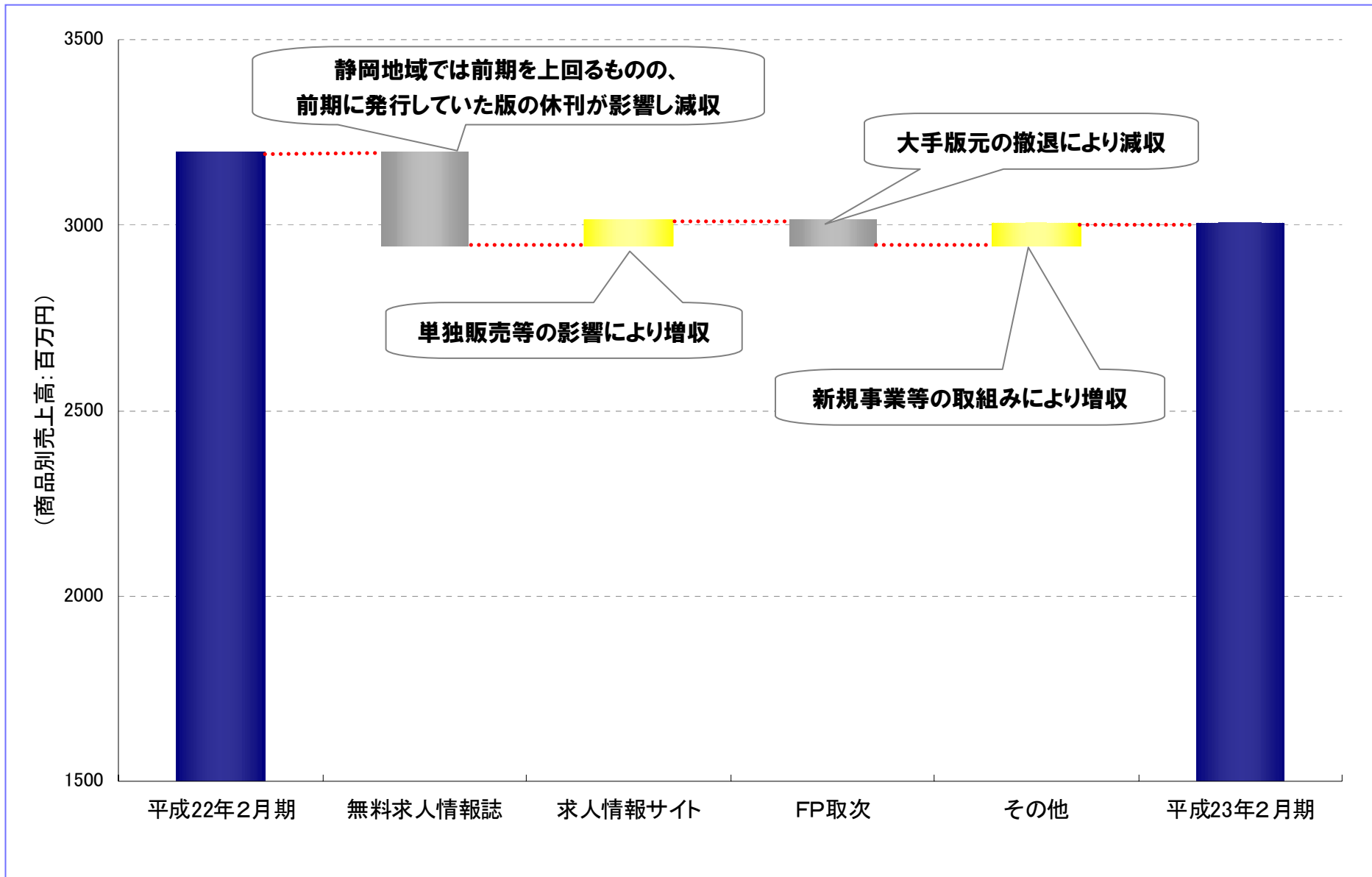
連結業績の概要

平成22年3月1日～平成23年2月28日

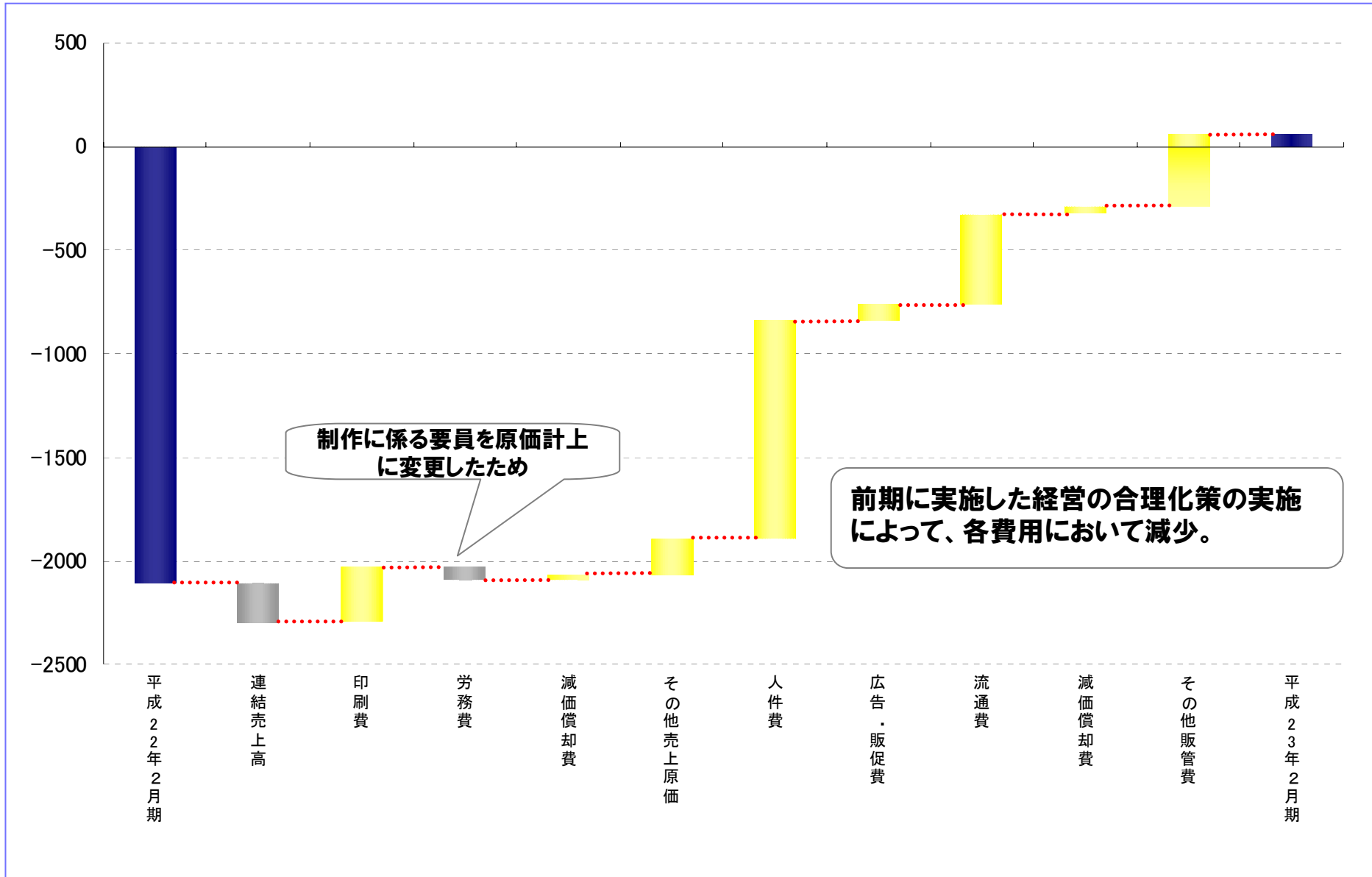
当期の業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成23年2月期		平成22年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,006	100.0	3,198	100.0	△191	△6.0
売上原価	1,240	41.2	1,642	51.4	△402	△24.5
印刷費	411	13.7	678	21.2	△267	△39.4
労務費	139	4.6	76	2.4	62	81.2
減価償却費	137	4.6	161	5.1	△24	△15.2
その他売上原価	552	18.4	725	22.7	△172	△23.8
売上総利益	1,766	58.8	1,555	48.6	211	13.6
販管費	1,707	56.8	3,658	114.4	△1,951	△53.3
人件費	990	33.0	2,040	63.8	△1,049	△51.4
広告・販促費	72	2.4	150	4.7	△78	△52.0
流通費	151	5.0	587	18.4	△436	△74.3
減価償却費	89	3.0	125	3.9	△35	△28.5
その他販管費	403	13.4	754	23.6	△350	△46.5
営業利益	59	2.0	△2,103	△65.8	2,162	—
経常利益	64	2.2	△2,093	△65.5	2,158	—
税金等調整前	54	1.8	△2,460	△76.9	2,515	—
当期純利益	150	5.0	△2,466	△77.1	2,616	—
EPS	¥4.47		△¥73.31			

売上高の増減要因



営業利益の増減要因



当期の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成23年2月末		平成22年2月末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	2,259	68.9	2,003	61.5	255	12.8
固定資産	1,020	31.1	1,251	38.5	△230	△18.5
資産合計	3,280	100.0	3,255	100.0	24	0.8
流動負債	363	11.1	489	15.0	△125	△25.7
負債合計	363	11.1	489	15.0	△125	△25.7
株主資本	2,916	88.9	2,765	85.0	150	5.4
資本金	455	13.9	455	14.0	—	—
資本剰余金	540	16.5	540	16.6	—	—
利益剰余金	1,919	58.5	1,769	54.4	150	8.5
自己株式	△0	△0.0	△0	△0.0	△0	14.0
純資産	2,916	88.9	2,765	85.0	150	5.4
負債・純資産合計	3,280	100.0	3,255	100.0	24	0.8
BPS	¥86.70		¥82.22			

- 流動資産は現金及び預金が1,695百万円(前期末比27.3%増)、営業債権(受取手形及び売掛金)が406百万円(同16.1%増)等となりました。
- 固定資産は有形固定資産が726百万円(同7.6%減)、無形固定資産が232百万円(同39.5%減)、投資その他の資産が62百万円(同24.3%減)となりました。
- 流動負債の減少は主に未払金が214百万円(同50.9%減)等となったためです。

当期の業績(CF)

金額・増減額:百万円	平成23年2月期	平成22年2月期	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	415	△2,371	2,786
投資活動CF	△51	41	△93
財務活動CF	△0	△3	2
増減額	363	△2,332	2,695
期首残高	1,331	3,664	
期末残高	1,695	1,331	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

◆ 主に、税金等調整前当期純利益が54百万円、減価償却費が226百万円、賞与引当金の増加額が49百万円、未払消費税等の増加額が58百万円、未収消費税等の減少額が97百万円、法人税等の還付による収入が41百万円等となった一方で、事業構造改善引当金の減少額が29百万円、売上債権の増加額が56百万円、未払債務の減少額が62百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

◆ 主に、敷金及び保証金の回収による収入が137百万円等となった一方で、有形固定資産の取得による支出が81百万円、有形固定資産の除却による支出が20百万円、無形固定資産の取得による支出が85百万円等となったためです。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

◆ 配当金の支払額が0百万円等となったためです。

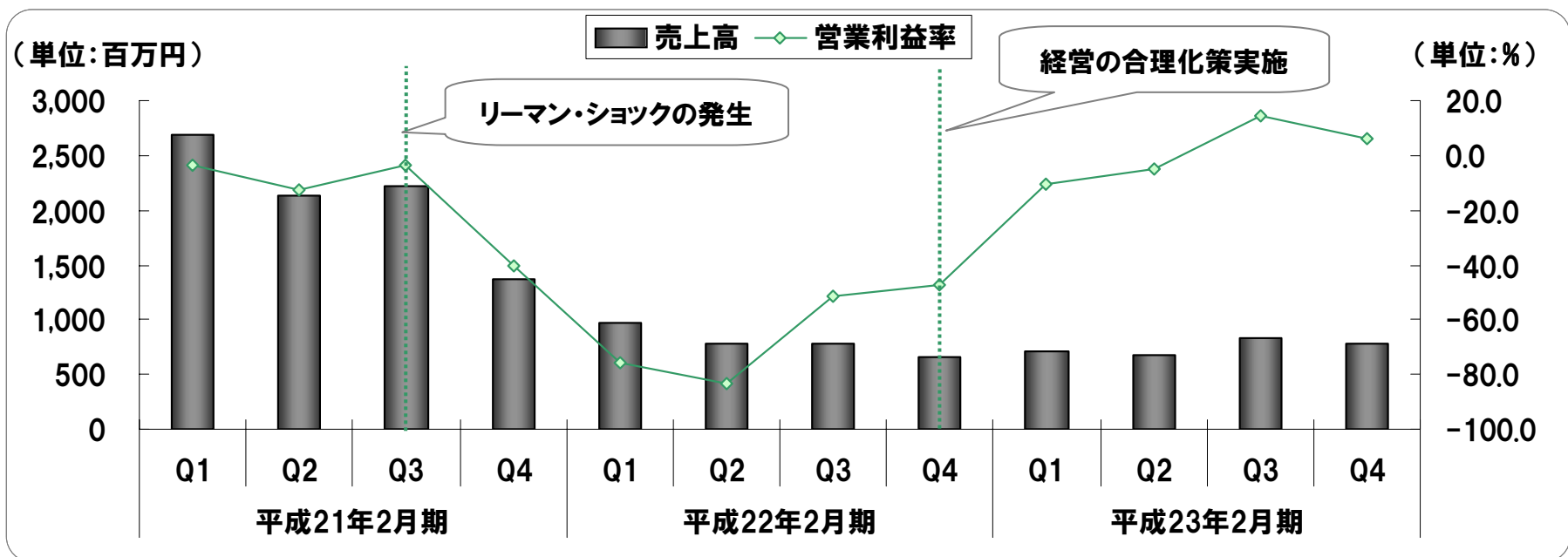
新しいシゴト, 新しいジブン

DOMO!
DOMO!NET

当期の総括

平成22年3月1日～平成23年2月28日

経営状態



継続的な売上高の縮小→業績の悪化→財務基盤の脆弱化→経営の合理化策実施

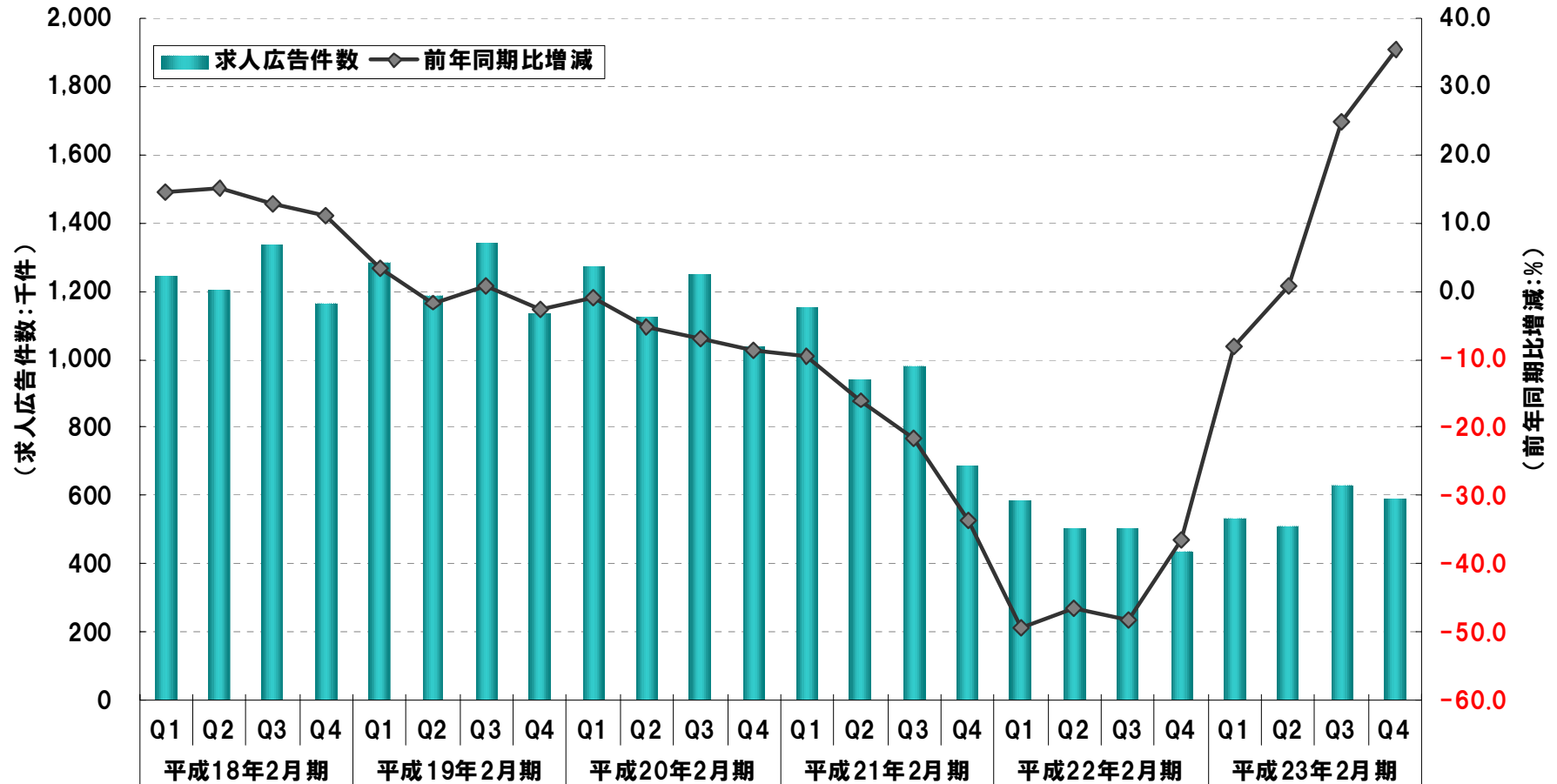
➤ 取り巻く環境

- ◆ 既存求人事業においては従来から縮小傾向が進んでいたが、平成22年2月期中に発生したリーマン・ショックを境に業績も急激な速さで大幅に悪化。
- ◆ 当社が主として事業を行っている求人関連事業は景気動向に敏感な事業であること、また、主力の事業が求人事業のみであることが、経営リスクとして否応なく露呈された。
- ◆ 平成21年2月期・平成22年2月期と、2期連続大幅な赤字を計上したことで財務基盤が脆弱化し、企業活動の継続に疑義が生じた。

事業環境①

全国の求人広告件数の推移
(正社員系及び非正社員系の合計、求人情報誌のみ)

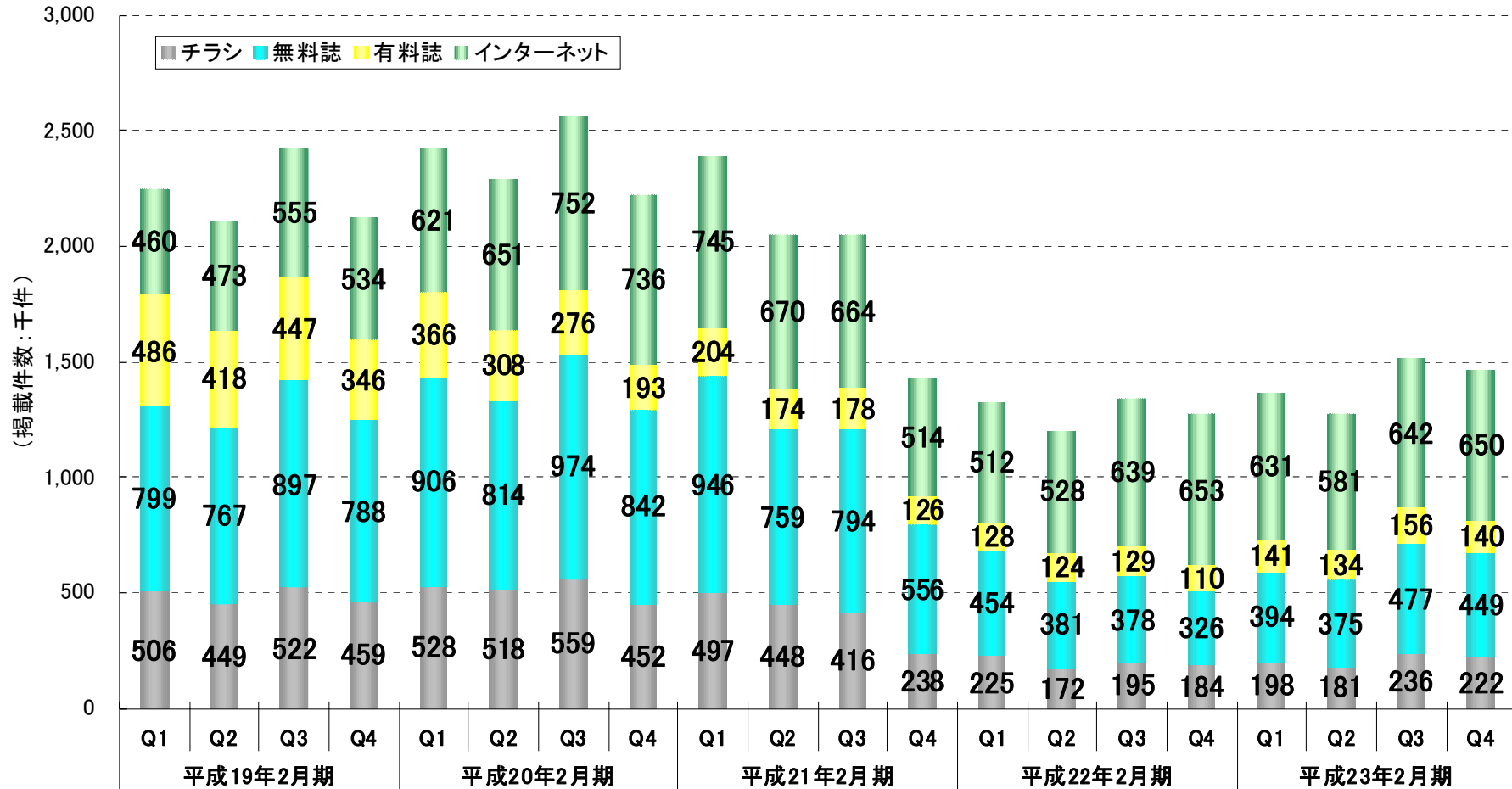
出所:(社)全国求人情報協会資料より当社作成



事業環境②

媒体別求人広告件数(全国)

出所: (社)全国求人情報協会資料より当社作成



当期の基本戦略

既存事業において安定的・恒常的に利益を創出する

- 既存事業において、投資を最小限に抑え生産性を重視した構造改革を行いつつ、求人情報サービスを更に拡大することで市場シェアの向上を図る。
- 「静岡地域での人材サービスの拡大」及び「『47都道府県求人サイト』への参画」を実施。

当社グループの資産を有効活用した新規事業によって成長を描く

- 当社グループの資産である、顧客・流通網・読者の活用を前提として、新しいセグメントの商品を読者や顧客に届けることで効率的な事業展開を図る。

当社グループの理念を根付かせ、自立した企業風土へと変革する

- 変革の原動力となる自立・意欲の高い人材の育成を図る。

既存事業における取組み①

静岡地域での人材サービスの拡大

- **アルバイト・パート層から正社員層まで**
 - ◆ 前連結会計年度より実施している「正社員向け合同企業ガイダンス」の継続実施
 - ◆ 女性就業支援事業「らしくる」、職業訓練（基金訓練）の実施

- **飲食店向けSP広告の販売**
 - ◆ 飲食店向けに、従来の求人情報以外に集客向上支援を実施

既存事業における取組み②

『47都道府県求人サイト』への参画

- 株式会社北海道アルバイト情報社
- 株式会社廣濟堂
- 株式会社雇用促進事業会
- 株式会社メリット
- 冒険王株式会社
- 株式会社イフ
- 株式会社ビジネスアシスト



当初4社でスタートも、現在は8社が参画
47都道府県の網羅を早期に目指す

既存事業における取組み③

『DOMO』首都圏版の休刊

- 平成22年6月21日発行号を以って休刊
 - ◆ 首都圏地域において『DOMO』首都圏版を平成22年6月21日発行号を以って休刊。紙媒体からインターネット媒体『DOMO NET』に経営資源を集中することで収益構造の改善を図る。
 - ◆ 印刷費、流通費が大幅に削減。

DOMO!



DOMO!NET



新規事業における取組み

新規事業『食らいふナビ』のオープン



※専門家(プロ)とは・・・管理栄養士、栄養士、看護師、料理関連書籍執筆者など

ターゲットニーズ

- ・買い物をする時間がない！
- ・出来れば簡単に調理したい！
- ・余った食材を有効活用して効率的に調理したい！
- etc・・・

「健康・体調」 の管理に 関わるニーズ

- ・子供の成長、体調が気なる！
- ・食材の安全性が気になる。
- ・自分の体調、美容が気になる！
- etc・・・

「家事」 の効率化に 関わるニーズ

「家計」 の負担軽減に 関わるニーズ

- ・安く食材を購入したい！
- ・無駄な食材購入を出来るだけ避けることで食費負担を軽減したい
- etc・・・

新しいシゴト, 新しいジブン

DOMO!
DOMO!NET

次期の方針、及び連結業績予想

平成23年3月1日～平成24年2月29日

次期の方針

展開地域での競争力強化

- 求人情報展開地域での競争力の強化とマーケットに即した新たな情報・サービスの試金石を打つ。

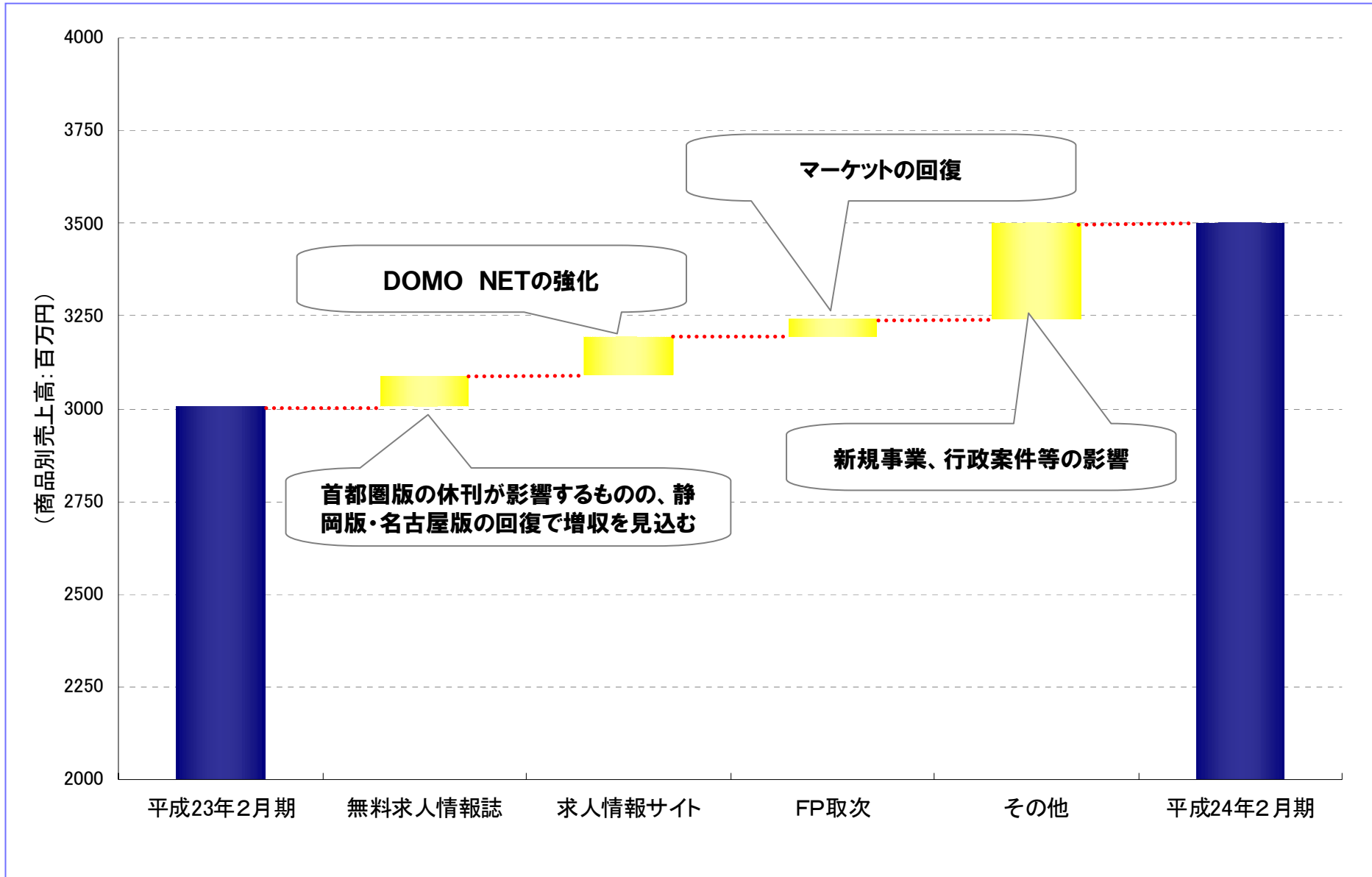
新規事業の基盤確立

- 事業基盤の確立に向け、効果的に事業を運営。また、既存事業との連携を強化することで、より強固なブランドを育成する。

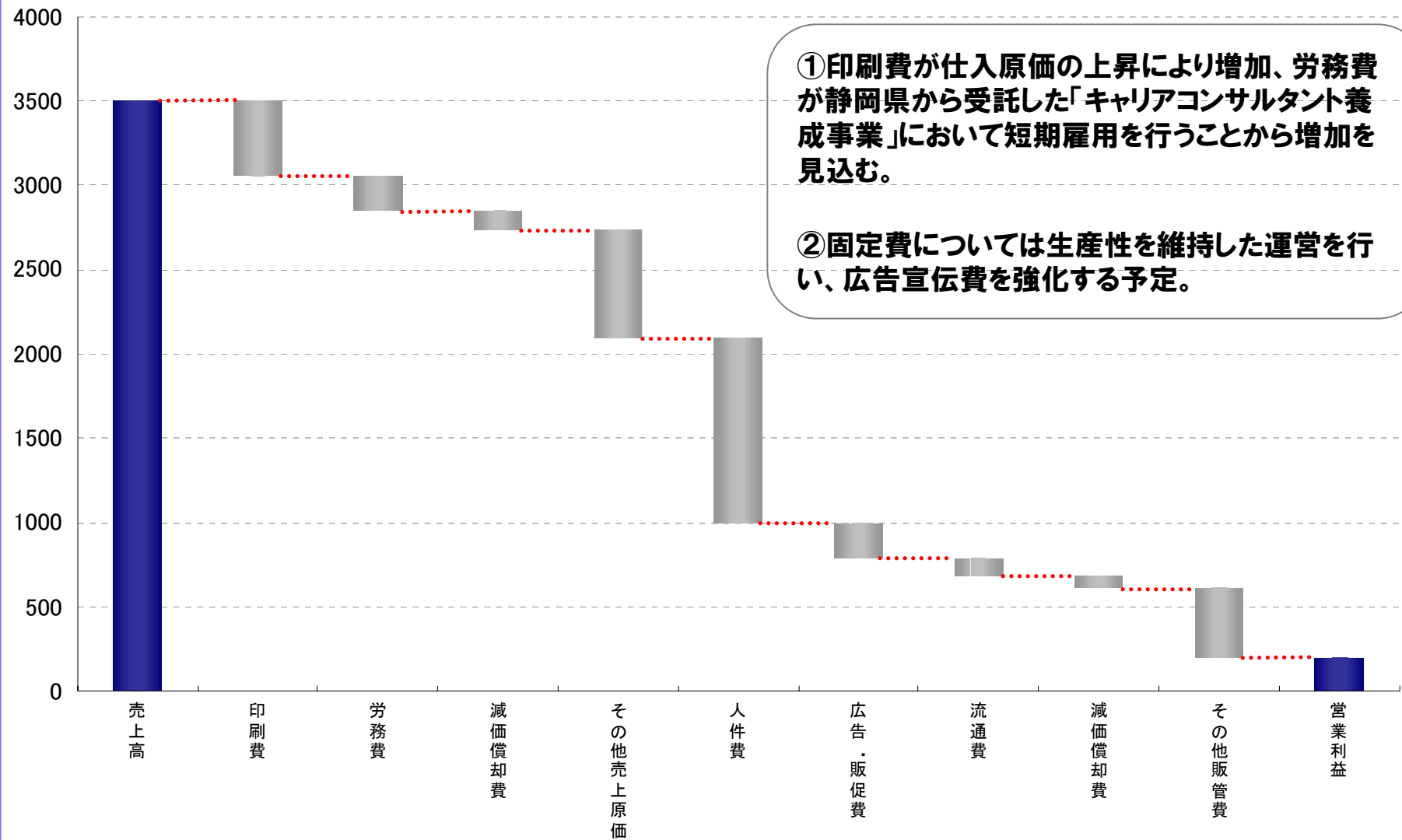
業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成24年2月期		平成23年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,503	100.0	3,006	100.0	496	16.5
売上原価	1,410	40.3	1,240	41.2	170	13.8
印刷費	446	12.7	411	13.7	35	8.5
労務費	208	6.0	139	4.6	69	49.9
減価償却費	111	3.2	137	4.6	△25	△18.6
その他売上原価	643	18.4	552	18.4	91	16.5
売上総利益	2,092	59.7	1,766	58.8	326	18.5
販管費	1,888	53.9	1,707	56.8	180	10.6
人件費	1,097	31.3	990	33.0	106	10.8
広告・販促費	202	5.8	72	2.4	130	180.6
流通費	110	3.2	151	5.0	△40	△26.9
減価償却費	66	1.9	89	3.0	△23	△26.1
その他販管費	411	11.7	403	13.4	7	1.9
営業利益	204	5.8	59	2.0	145	245.3
経常利益	205	5.9	64	2.2	140	216.4
税金等調整前	201	5.7	54	1.8	146	266.3
当期純利益	186	5.3	150	5.0	36	24.2
EPS	¥5.55		¥4.47			

売上高の増減要因



営業利益の増減要因



株主還元

連結当期純利益の30%を目処

- 当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。
- 一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結当期純利益の30%を目処に配当を行う方針です。
- 当期におきましては、連結当期純利益を計上したものの、新規事業向けを中心とした投資に充当したく、期末配当金は無配となる予定です。次期の配当につきましては、1株当たり2円の期末配当を予定しております。

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

連絡先

株式会社アルバイトタイムス 経営企画部

TEL:03-3254-2503

FAX:03-3254-2444

E-Mail:ir@atimes.co.jp

住所:101-0041

千代田区神田須田町1-24 アイセ神田ビル4F

HP:http://www.atimes.co.jp